

●スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れよう。

今日のメッセージ 「十字架を負うイエス」 ヨハネ福音書 19 章 17 節 関真士牧師

次週のメッセージ 「イエス、婦人を慰める」 ルカ福音書 23 章 27 節～31 節 関真士牧師

●分かち合いのポイント

- ① イエスが十字架を負うという意志は、私たちへの愛から生じました。このイエスの意志を思いながら、黙想してみましよう。

- ② イエスが三位一体の愛の交わりから「出て」まで、十字架への道に歩み出した行動は、まさに愛そのものです。イエスが、ドロローサの道に踏み出した一歩を思いながら、黙想してみましよう。

- ③ イエスは、どくろ（ゴルゴダ、カルバリ）と呼ばれる山の上で十字架にかかりました。しかし、その呪いの場所は、神の栄光の場所と変えられました。私たちの呪いは消え去り、すべてが祝福に変えられました。神から受けた祝福を分かち合いましよう。

●賛美の御言葉 詩篇 47 篇 6,7 節 Psalm 47:6,7

ほめ歌を歌え。神にほめ歌を歌え。ほめ歌を歌え。私たちの王にほめ歌を歌え。まことに神は全地の王。ことばの限り、ほめ歌を歌え。

Sing praises to God, sing praises! Sing praises to our King, sing praises! For God is the King of all the earth; sing praises with a psalm!

ヨハネ福音書 19 章 17 節

イエスは、自分で十字架を背負って、「どくろの場所」と呼ばれる所に出て行かれた。そこは、ヘブル語ではゴルゴダと呼ばれている。

John 19:17

and he went out, bearing his own cross, to the place called The Place of a Skull, which in Aramaic is called Golgotha.

1 ペテロ 2 章 24 節

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

1 Peter 2:24

He himself bore our sins in his body on the tree, that we might die to sin and live to righteousness. By his wounds you have been healed. For you were straying like sheep, but have now returned to the Shepherd and Overseer of your souls.

1 コリント 13 章 7, 8 節

愛は、すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍びます。愛は決して絶えることはありません。

1 corinthians 13:7,8

Love bears all things, believes all things, hopes all things, endures all things. Love never ends. As for prophecies, they will pass away; as for tongues, they will cease; as for knowledge, it will pass away.